

微生物(細菌やウイルスなど)の除去を効果的に行うには、その微生物に合った種類および濃度の消毒薬を使用することが必要です。消毒薬には、次亜塩素酸ナトリウム、クロルヘキシジン…など10種類以上の成分がありますが、現在、全世界で猛威を振るっている新型コロナウイルスにはアルコールが有効であるといわれています。厚生労働省ホームページ「新型コロナウイルスに関するQ&A」には「アルコール消毒(70%)などで感染力を失うことが知られています」と表記されています。

では濃度が高くなれば効果的かといえ、効果的とは言えません。なぜなら、殺菌効果は高くなるものの、揮発性が高くなるためウイルスを除去しきる前に蒸発して

ちよつと得する
クエリ
の知
識[®]

消毒薬、正しく使おう

しまう可能性があるからです。日本薬局方において「消毒用アルコール」とは「エタノール76.9~81.4%」と定められています。

最近ではアルコール消毒薬も手に入りにくい状態が続いています。せっけんを用いた衛生的な手洗いは、アルコール消毒と同様に効果的とされています。どちらの方法も微生物を効果的に除去しますが、同時に手の皮脂も除去するため、長期間行うことで手荒れが起こりやすくなります。荒れた皮膚についた微生物は除去しにくくなる可能性があるため、寝る前にハンドクリームを塗るなどの手荒れ対策も必要となります。

また、手指消毒を効果的に行うための最

大のポイントは、消毒薬を使用するタイミングです。ドアノブやつり革だけでなく、お金、郵便物、スーパーのカートや陳列品、自販機のボタン等々…あらゆる物に微生物がついていると思ってください。それらを触った後、例えば外出時に自家用車に乗る前や、帰宅時に玄関に入る前に行う手指消毒は、自分の生活圏に微生物を持ち込まないようにする上で大切です。また、自分の顔や髪および目などに触れる前、また食事の前に手指消毒を行う習慣を身につけることは、感染を予防するとても大切な対策です。(奥村 知香・県病院薬剤師会理事)

<毎月第4火曜日に掲載>